

第2回地域連携推進部会 議事録

豊かな人間性

挑戦する意欲

持続可能な社会を担う力

《これからの社会をたくましくしなやかに生き 活躍することのできる力を育むために》

今回の協議内容等

○5月コンソーシアムガイダンス実施報告
校長より note 記事等を使った説明。

○コンソーシアムとの連携について

(1)コンソーシアムガイダンスの課題等について

吉田委員：実施時期、対象学年、ブース形式での音での伝え方工夫の仕方検討などについて

(2)生徒センタード教育（地域連携）においての留意事項について

校長：学校側から地域へお願いばかりになりがちなのを危惧している。地域連携の上で地域の方々の側から、学校側が気をつけるべきことについて。

今委員：コンソーシアムにおける自分たちの立ち位置についてすり合わせの時間がもう少し必要と感じた。

数馬田委員：目指す教育は結局1つ（「(社会に対して)自分としてどうしたら良いかを考えさせ、進路実現させる。」)なので、今回の取り組み方は良かった。

吉田委員：生徒たちは地元の企業を知らないこともあるので、この取り組みは企業側として高校生に知ってもらいたい機会であり、応援したい

○令和7年度地域連携推進部会計画について

(1)生徒の意識醸成・コンソーシアム加盟法人等に対するのメリットの創造

福沢委員：学校との取引があるなしに関係なく、教育機関とは繋がりたいと思っている経営者は多いと思う。企業も繁忙期でなければそれほど断ることはないと思うので、依頼を遠慮しなくてもいい。企業側も若手の意識改革も含めた社員教育の良い機会となる。

3 年間のスケジュール

次回の予定 9月25日(木) 第2回学校運営協議会 (自由探究I期中間発表会)

○探究の状況説明

山本教諭：今後、調べて終わりではなく、意見も持たせて言えるように指導していきたい。

福沢委員：予定より進んでいると感じた。中間発表で、委員の方々の意見を入れるなどの提案

山本教諭：1回ごとの意見は時間が限られるが最後にまとめて講評などは可能。

活動のねらい

地域連携推進 活 動 内 容

- ・本校が育成を目指す資質・能力について、地域と共通理解を図ると共に、地域と教職員が協働しながら効果的な教育活動の在り方等について助言や支援を行う。
- ・生徒の探究的な学びの推進のため、野幌高校コンソーシアムとの円滑な連携を促進するための助言や支援を行う。
- ・生徒が自己の適性を理解し、進路及び自己実現するための活動について助言や支援を行う。